



町田市立鶴川第二中学校

鶴二中だより

第7号

令和7年11月10日

TEL 042-734-4343

FAX 042-735-2089

「実りの秋を迎えて」

校長 小島 千恵

「心に響く合唱コンクール」

先月の10月16日に合唱コンクールが行われました。どの学年の合唱も、心に響くとても素晴らしいものでした。今でも、皆さんの歌声が蘇ってきます。当日を迎えるまでの練習や、当日のステージでの発表、それぞれの場面で感じ取れたことをいつまでも大切にしてほしいと思います。

当日を迎えるまで、各学年・学級では、実行委員を中心に団結力を高め、指揮者・伴奏者、各パートリーダーが共に力を尽くし、歌声の調和を図っていこうと練習を重ねました。その状況の中で、皆さんはたくさんの頑張りをを見せていました。

当日、3年生は、これまでの経験を生かし、仲間と声を掛け合い、そして、一人ひとりが熱い思いを歌に込め、中学校生活最後の合唱コンクールを堂々と立派にやり遂げることができました。さすが、3年生と感動しました。2年生は、昨年度の経験を踏まえて、より質の高い合唱を創り上げていこうと努力を続け、素晴らしい歌声を披露することができました。そして、1年生は、初めての合唱コンクールに緊張をしながらも、上級生の様子を見聞きして、仲間と協力することの大切さを学び取りながら練習に取り組み、一生懸命に歌う姿に感動しました。

合唱の良さは、さまざまな取組を通して成長していくところにあると思います。今年も発表当日まで、練習を重ねる中、各学級で様々なドラマが展開されたことでしょう。その度に、学級の仲間と励まし合い、支え合ったと思います。その結果、思いが込められた素晴らしい合唱を作り上げることができたのです。私は、人と人との関わることの大切さを学び取れた皆さんの成長の証を感じ取ることができました。当日は、賞をつけることになりましたが、悔いのない合唱を作り上げた時に得られた喜びをしっかりと感じ取ることができた皆さんの姿を見ることができて良かったです。

今年も、思い出に残る感動的な合唱がホール中に響き渡ったコンクールとなりました。生徒の皆さん、素晴らしい合唱、ありがとうございました。

最後になりましたが、発表を見守ってくださった保護者・地域の皆様、サポートしてくださった本部役員をはじめとする行事委員並びにサポートスタッフの皆様、本当にありがとうございました。



進路相談

今、3年生は中学校卒業後の進路先を決めるための進路相談を行っています。義務教育の9年間が終えるにあたり、自分の力で進路先を切り拓いていく必要があります。その時、ただ単にどこか高校に入ればよいという考えでは、次の生き方に大きな影響が出ます。将来を考え、なぜ自分はその高校に行きたいのかなど自分の考えをもつ必要があります。

生徒が進路を選択するにあたっては、自分の将来の生き方や生活について夢や希望をもち、その実現に向けての計画を立て、自らの意志と責任で生き方を考えていくことが大切です。そのため、進路選択は、中学校卒業後の進路先の的確な情報収集のもとに、将来を見通して、自己の個性・能力・適性に関する十分な理解と検討のうえに、生徒自らが納得いくものにする必要があります。そこで、担任と生徒・保護者とともに進める進路相談は重要な場となります。生徒の主体的な進路決定に向けて保護者の理解と支援がなければならないからです。家庭での話し合いを十分に行いながら、学校と家庭が協力していくことが大切です。

3年生は進路選択を考え、進路決定をしていく重要な時期になっていますが、それは3年になって急に始まるものではありません。1・2年での学習等の積み重ねがあつてのものです。1・2年においても、日頃の教科の学習とともに望ましい勤労観・職業観の形成、主体的な進路の選択と将来設計など進路に関する学習をしています。そのうえで、3年の進路学習につながっています。3年での進路相談がより充実したものになるよう、1・2年の段階から進路について意識をしていくことができるようご家庭のご協力をお願いいたします。そのことにより、3年での進路相談がより充実したものになっていきます。

◆読書で得るもの◆

「読書百遍意自から通ず」何回も何回も繰り返して読めば、難しいと思える事柄でもだんだんわかってくるといふ意味のことばです。熟読を勧める中国の古い書物にあることばだそうです。いろいろな面で忙しい毎日を送る中学生のみなさんに、このことばが通じるかどうかは難しいところだと思います。でも、時間を生み出して本を読むことをぜひやってみてください。

本は、それを読む私たちにたくさんの知識を与えてくれます。さまざまな本を読むことによって世界中のあらゆる知識を得ることができます。また、実際に経験できないことを経験したように感じることができます。はるか昔に生きていた人に会えたり、その人たちと同様のものを見たり、聴いたりもできます。善人にも悪人にもなりきることができます。願ってもみない幸運に恵まれたり、とんでもない悲しみのどん底に突き落とされたりするような経験も味わえます。冒険ができたり、恋ができたり、およそ一人の人間の一生では経験し尽くせないことが経験できるのが読書です。

それも、ポケットやカバンの中から取り出す文庫本によって、電車の中でも、公園のベンチでも、ベッドの上でもオーケーです。忙しい合間をぬって、学校や塾の休み時間や寝る前でも、このいつでも何処ででもというのは、映画やビデオやDVDなどにはない利点です。忙しい日々を送っている中学生にとってはもってこいのものです。

人間にとって、経験は何物にも代え難い教師だといわれます。しかし、一生のうちにできる経験は限られていますし、ものによってはお金も掛かります。それをたやすく実現させてくれるのが読書だと思います。わずかな時間の積み重ねでよいので、本を手にしちゃいましょう。

今年の読書週間は、10月27日～11月9日ですが、これから先もこの週間に限らず、本に触れる時間をもつようにしていきましょう。ちなみに、今年の読書週間の標語は、『こころとあたまの深呼吸』です。

うた響く鶴川二中合唱コンクール♪

♪結果発表♪

10月16日(木)にテアトロ・シーリオ・ショウワで開催された合唱コンクールは、「うた響く鶴二中」の名のとおりとても素晴らしい演奏会となりました。

この日のために、実行委員やパートリーダーを中心に一致団結し、鶴二中生の底力をみせていたことをとても誇らしく思います。

なお、雨天にもかかわらず、多くの保護者や地域の皆様に観覧いただきありがとうございました。

3年	課題曲	あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ
最優秀賞	3組	虹
優秀賞	5組	YELL
優良賞	1組	結 - ゆい -
2年	課題曲	夢かなう場所へ
最優秀賞	2組	翔ける川よ
優秀賞	3組	HEIWAの鐘
優良賞	4組	手紙 ～拝啓十五の君へ～
1年	課題曲	明日の空へ
最優秀賞	5組	涙をこえて
優秀賞	8組	COSMOS
優良賞	1組	この星に生まれて

ブリティッシュヒルズ移動教室

2学年は10月29日(水)から2泊3日で福島県のブリティッシュヒルズ移動教室を実施しました。

現地では本格的な入国審査から始まり、滞在期間は学校の英語の授業とは一味違った英語学習をしました。英会話でのスコーン作りやカードなど、ハリーポッターの世界を思わせるマナーハウスやアカデミックドレスに生徒たちはわくわくし通してでした。

そして何よりも国内英国留学の経験だけでなく、仲間との共同生活はかけがえのない思い出になったことと思います。



笑顔と学びのプロジェクト

1学年は10月30日(木)に本校体育館で、アフリカンエクспレスのメンバーを招聘し、音楽やダンスを観賞しました。メンバーのリードにあわせて、大きく手拍子したり、一緒に踊ったり、みんな大はしゃぎでした。



連合体育大会 《 町田 GION スタジアム 10月23日（木）開催 》

3年

3年女子	100m	6位
3年女子	800m	5位、6位

2年

2年男子	100m	8位
1・2年男子	1500m	8位
1・2年女子	800m	2位

1年

1年男子	100m	4位
1年男子リレー（4×100m）		3位
1年女子リレー（4×100m）		6位



入賞選手以外にも多くの鶴二中生が、競技・応援・係の仕事に大活躍し、大会を支え盛り上げていました。お疲れ様でした！

鶴二中生がんばっています！《敬称略》

◆男子バドミントン部

町田市バドミントン新人大会

男子団体	準優勝
男子ダブルス	2位
男子シングルス	3位

◆伊藤園おーいお茶新俳句大賞

佳作特別賞	1名
佳作	1名

◆東京都薬物乱用防止ポスター・標語

優良賞	1名
-----	----

11、12月の主な予定（ ）は学年

11月	11日(火)	期末考査(社/技家/美)
	12日(水)	期末考査(国/保体/音)
	13日(木)	期末考査(数/理/英)
	17日(月)	全校朝礼
	18日(火)	専門委員会
	23日(日)	ESAT-J(3)
	25日(月)	生徒朝礼
		JICA出前授業(1)
12月	1～8日(月～月)	三者面談 ②
	9日(火)	心のアンケート
	10日(水)	安全指導
	14日(日)	ESAT-J(3)予備日
	15日(月)	入試相談(3)
	16日(火)	避難訓練
	19日(金)	専門委員会
	22日(月)	生徒朝礼 給食終了
	24日(水)	大掃除 学年集会
	25日(木)	終業式
②	12月1日～9日	は午前授業・給食あり(3年は10日(水)も同様)

